

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第50号 2012. 2. 21

発行: 福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp <http://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces - かけらたち - 】本の中の言葉

「ガッカリした？結局あんたもそうなのね、ってあきれた？」

里華が尋ねると、魔法使いはうつすらと微笑んだ。

「そんなことはないわよ」

「そう？」

「ただ、面白いな、と思うだけ」

「面白い？」

「人間ってふしぎ。自分の心なんだから、自分の好きなようにコントロール

すればいいのに、逆に振り回されて悩んでいるように見えるわ」

『思い出あずかります』（吉野万理子／著 新潮社 2011年 p178）

大勢が声を揃えて一つのことを言っているようなとき、少しでも違和感があつたら、自分は何に引っ掛かっているのか、意識のライトを当てて明らかにする。自分が、

足がかりにすべきはそこだ。自分 ^{スタンダード}基準で「自分」をつくっていくんだ。

他人の「普通」は、そこには関係ない。

『僕は、そして僕たちはどう生きるか』（梨木香歩／著 理論社 2011年 p144）

サブリナは赤くならなかった。赤くなればいいのかと思っていたけれど、もしそうなたらなつたで、がっかりしていたかもしれない。サブリナが言った。

「のりこえるというのは、服を着るまえに下着をつけるようなこととはちがうのよ。服を着るまえに、よろいをつけるようなものなの。そうになると何を着ても、よろいの形になっちゃうでしょ。」

「何をやっていても、それじゃあ、ぜんぜんリラックスできないだろうね。」

「それに、何かのふりをするのもぜんぜんできなくなるのよ。」

「ふりをしたいなんて思ってる人、いるかなあ。」

『800番への旅』＜岩波少年文庫＞（E. L カニグズバーグ／作 金原瑞人・小島希里／訳 2000年 p149）

「選択肢がふたつしかないみたいな言い方をするのね。自分がほかの人のようになりたいと思うか、ほかの人が求める自分になるか。自分から望んでまわりに合わせるか、まわりに言われるがままに合わせるか、ふたつにひとつしかないと思ひこんでない？」

『どこからも彼方にある国』（アーシュラ・K・ル＝グィン／著 中村浩美／訳 2011年 p72～73）

地図【atlas】

“地図”と一括りに言っても、その用途や目的に合わせて、道路地図や住宅地図、地形図、土地利用図…など、様々な種類の地図が存在します。今回は、普通の地図とは少し違った、ユニークな地図をご紹介します。

①『東日本大震災復興支援地図 —青森・岩手・宮城・福島・茨城・ 千葉太平洋沿岸地域—』（昭文社 2011年）

この地図には津波の浸水範囲や災害対策本部の場所、道路の復旧状況などが記載されています。福島を始めとした被災地での復旧・復興活動に役立てるために作られた地図です。地図としてだけでなく、後世に伝えていくための貴重な災害の記録としての役割も果たしています。

②『最新 世界情勢地図』

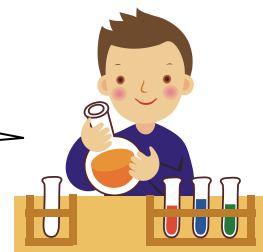
（パスカル・ボニファス、ユベール・ヴェドリーヌ／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2011年）

この本は、今、私たちが生きている“世界”について、80種類の地図を使い、過去における歴史の転換点や世界についての様々な解釈などを説明しています。

特に、第4章は22の国と5つの地域・グループから見た世界を描いています。それぞれの国がどのように世界を見ているのか、そこから見える世界の共通点や矛盾、敵対関係についても指摘しています。

日本中心に描かれた地図からは見えてこない、“世界の中の日本”が見えてきます。

本で広げよう！科学の世界



第2弾：「数学って実はこんなにおもしろい！」

「数学って、なんか苦手…」と思っている人は多いのではないのでしょうか？

今回は数学が苦手な人にも、もちろん得意な人にも数学っておもしろい！と思ってもらえるような本をご紹介します。難しいだけではない奥深い数学の世界を、ぜひ、楽しんでください。

●数字を見るのもなんか嫌だなあ～というあなたには…まずこの1冊☆

書名	著者名	出版社	出版年	内容
数学 はじめの一步	サイモン・バシャー／絵 ダン・グリーン／文 原田佐和子／訳	玉川大学 出版部	2011	なんだか難しいなあ～と思う数学も、皆を助けてくれる数の仲間や計算のプロだと思えば楽しくなってくるかも！？…問題集を開きたくない時に、勉強の息抜きに、ぜひどうぞ。
いろいろあるんだ！ 数の性格	高岡昌江／著	アリス館	2003	数学とは切っても切れない関係の“数字”。そもそも、数字ってどこで生まれたのかな？もし、数字に性別があるとしたら？！数字の形って今と同じ？…数字に魅せられた著者がユニークな「数の履歴書」を完成させるまでの記録。
つまずき克服！ 数学学習法 〈ちくまプリマー新書〉	高橋一雄	筑摩書房	2011	いったいどこで数学につまづいてしまったんだろう…？そんな疑問を解決！数学との向き合い方や対策方法まで教えてください。数学が苦手なすべての人に勧めたい1冊です。

●数学は得意！というあなたには…一歩先の世界へ

書名	著者名	出版社	出版年	内容
素数ゼミの謎	吉村仁／著 石森愛彦／絵	文藝春秋	2005	アメリカにいる13年、あるいは17年に一度だけ大量発生する“素数ゼミ”。この“13”と“17”の数字には、素数ゼミの生き残りをかけた秘密が！不思議な数の世界をのぞいてみませんか？
数学、一歩先へ -証明と計算がおもしろい- 〈岩波ジュニア新書〉	大橋義房	岩波書店	2007	学校で習っただけでは本当の数学のおもしろさは分からない…！？一歩踏み込んで考えてみることで、奥深い数学の世界を楽しめるようになると著者はいます。基本はバッチリ！というあなたに。

●小説でも数学を楽しめます！！

書名	著者名	出版社	出版年	内容
天地明察	冲方丁	角川書店	2009	江戸時代、改暦の仕事を任された渋川春海を中心に描いた歴史小説。彼がもう1つ、夢中になっていたもの…それは和算でした。和算について詳しく知りたい人は『和算を楽しむ』〈ちくまプリマー新書〉（佐藤健一／著 筑摩書房 2006）もどうぞ。
博士の愛した数式	小川洋子	新潮社	2003	事故で記憶を失った1人の老人と家政婦、そしてその息子である√（ルート）の交流を描いた小説です。ストーリーもさることながら“数”の世界も楽しめる小説です。